

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 1月19日 (13:00 ~16:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 大木 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南 杉岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7	1人	人	10人

前回の改善計画
 利用開始前には本人の十分なアセスメントを行うとともに、家族の心情、意向を踏まえて支援方法等の検討をしっかりと行う。初期支援のかかわりには信頼関係を築く足かかりとして重要であることから家族介護職、看護師等々含め情報交換及び共有(回覧等による)を確実にを行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
 情報の回覧等は行えているものの細かなケア内容の共有まではスタッフ全員で取り組むことが出来なかった。全員が共通認識持っているかの確認までは至らずにしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	7	1		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	3		10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	5			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	5			10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・利用者様の状況などは回覧物や朝礼等で情報共有出来ている。
 ・利用開始前に必要な情報を取りまとめて共有するように心がけている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・ご本人様の背景の部分でキーパーソンの方がいないことで情報収集をすることが出来ずに薄い内容になってしまうことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ・アセスメントをより細かい部分まで落とし込み文面から状況把握できるようにする。
 情報が薄い利用者様については、包括の方や保健師、民生委員の方からも情報収集しどんな人物像だったかなども踏まえて背景も細かく分析できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 1月19日 (13:00 ~16:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	2人	人	人

前回の改善計画	利用者様本人の目標(短期・長期)の理解に努めるとともにケア会議において利用者様毎の担当職員を定め、ケアプランと個別研修計画書の連動性を確認の上、PDCAサイクルによる目標管理を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	担当制にし各自モニタリング実施。毎月の評価を行うことで本人の課題などを洗い出すことが出来ている。また、サービスの見直しなども行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	4	2	2	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	4	3	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	3	3	2	10
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		2	6	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・本人のやりたいに対しての対応は都度行えている。 プランの確認は行って状況変化に対応している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ケアプラン変更時に変更点の共有に時間がかかってしまうことがある。 全職員が目標に対しての対応が統一できていない。 職員の入れ替え等に伴い情報共有に時間が要してしまう
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ご本人様の状態変化に随時対応できるように送迎時のご家族様への聞き取りを行う習慣をする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年 1月19日 (13:00 ~16:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	人	10人

前回の改善計画
本人の生活環境や生活歴情報把握のため再度見直すとともに情報共有についてもミーティングを通じて改善を図り徹底する。また、利用者様の声にならない声は、個人ファイルの見直しを通して言語化できるように心がけ支援につなげていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者様の声にならない声に関しては中々、拾い切ることが出来ずにいる。日々のかかわりの中で細かな気付きとして変化の共有は行っていくようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	7	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?		8	2		10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	3	4	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	6	2		10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6	2		10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
状況と身体変化については常に日常的に共有が出来ている。
ご本人様の状況変化に伴いすぐにサービスの見直しを行うことが出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
もっとこうしてほしいや、こうしたいなどの気持ちに対して聞き取りがうまく出来ていなかった。
ご家族様と本人の気持ちの相違があり

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
情報収集を細かい部分まで行い情報共有については申し送りを活用しながら職員周知を徹底できるようにする。カンファレンス等を通して利用者様の状況変化に対応できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(13:00～16:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	人	10人

前回の改善計画

利用者様と家族等とのかかわりについては、生活歴の把握や送迎時に家族とのコミュニケーションを密に図り連携して本人のケア向上に努めるとともに、本人の過ごし方に着目した関係を築いていく。また地域とのかかわりについては、地域行事等を通じ関係の維持向上を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

本人の背景を知るためにまずは聞き取りを重点おいて確認していた。また、ご家族様への聞き取りや関係性を構築するにあたり送迎時の1日の報告や様子を細かく伝えるように出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	6	2		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5	3	2	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	4	3	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			6	4	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご本人様何が出来るか、何をしていたか家族とどんな関係性であったかをしっかり把握し
通い時に各自が過ごしやすい環境を提供することが出来ていた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員や地域のかかわりが出来ていなく、うまく活用するにはどうすべきなのかが課題となっている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用者様の背景や出来ることや楽しみについては引き続きご家族様と情報共有を図り
ご本人様が利用するにあたり過ごしやすい環境を整えることが出来るようにする。
地域とのかかわりは町内会行事や回覧版など活用し参加できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日 (13:00 ~16:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	4人	4人	10人

前回の改善計画
ご本人様の小さな変化に対し臨機応変にサービス内容を変更し柔軟性高くサービス提供行っていく。地域資源の確認を行い地域と共に支えられるサービス作りを意識する。

前回の改善計画に対する取組み結果
ご本人様の小さな変化についてはご家族様とも共有し密なケアに取り組むことが出来ている。情報共有については朝の申し送りや情報共有システムを活用しながら全員が把握できるように取り組んでいる。また、ご家族様への聞き取りも細かく行うことで介護負担の軽減やサポートを強化出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		2	5	3	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10				10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	3			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10				10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご家族様と本人の予定の確認を毎月行い必要なサービスの検討を行っている。また、病状に合わせた使い方の検討も行っている。朝の申し送りでは毎日細かくご本人様の情報共有として改めて言葉でも発信している。

出来ていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご本人様が言えない方や言葉にすることが難しい方へのニーズの汲み取り方をうまく抽出することが出来ずにいた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
個別ケアを強化するため利用者様への担当決めを行ない細かなモニタリングを実施する。ニーズの汲み取りに関しては業務日誌の活用を行い、細かな情報をよりタイムリーに発信できるように朝の申し送りで共有を細かく行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日 (13:00 ~16:00)

6. 連携・協働

メンバー 大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	4人	5人	10人

前回の改善計画
他事業所とのつながりも大切にていしながら、地域行事にも参加できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
引き続き、町内会への行事参加や、他事業所と共に行う研修会などを開催することが出来ていた。地域行事や、駄菓子屋を開催することでやや定着してきているような場面が多々見受けられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	4	4	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	4	5	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			5	5	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	5	4		10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当事業所は町内会の役員に加わり地域の防災活動や、土砂災害時における弱者の一時避難場所、医療と地域の連絡協議会メンバーとして地域との連携強化を図っている。
また、毎年中学生の職場体験を実施するとともに、事業所に駄菓子屋コーナーを設けて地域の子供（園児・小学生・中学生）たちと利用者との交流を図っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の交流という意味ではもう少し積極的に地域で行われる行事(回覧板の活用)に参加を行うべきではあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
地域との交流を活発に図るべく、事業所内の行事への地域住民の招待・参加してもらうとともに、町内会が主催するイベントについて職員が積極的に参加する等体制や環境づくりに取り組む。
また、開催についても回覧板で発信している情報共有を職員間で行うこととする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(13:00 ~16:00)

7. 運営

メンバー 大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	6人	2人	10人

前回の改善計画
利用者様及びご家族様からの声を反映させスムーズに現場内で共有できるようにする。
運営推進会議等でいただいた意見についてはすぐに反映させるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
ITの活用や情報共有を行うことで回覧に対してスムーズに行うことが出来ている。
また、ご家族様からの意見もすぐに反映させることで地域の一員として考えることが出来ている。
地域貢献の一つで駄菓子屋の開催や町内会のお祭りなどにも参加し町内の意見を直に確認することが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	8	1		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	6		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	3	5	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1		5	4	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所内の各種会議体を通じて活発に意見交換を行い改善等に努めている。
町内会長さんとも地域行事のかかわりの中で地域の中での役割について話せる機会が多く良かった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議で話合われた内容は議事録として職員が閲覧できる体制となっているが、職員一体となって参加しているという実感や感覚が薄い。
利用者ご家族様やご本人様の意見についてはすぐに反映していても職員のシフト制によりタイムリーに共有が出来ない時もある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
運営推進会議で積極的に意見を聞き取るとともに利用者等の苦情や意見反映についてはミーティング等でタイムリーに共有できるようにする。
引き続き地域の連絡会については参加しながら地域の一員である事を意識する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年1月19日 (13:00 ~16:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田 軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	人	10人

前回の改善計画	職場内における内部研修については年間行事に盛り込み職員の意識向上に努める。 職場外の外部研修については、職員の経験値、能力の応じて必要な研修の参加を促す。 リスクマネジメントの観点から、ケアの統一の重要性を事業の内の会議体で周知徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	年間研修の予定を立て計画的に進めることが出来ていた。 必要に応じた研修をうけることでスキルアップにも繋がっていた 利用者様の状況が変動する中でも状況に応じた研修内容が取り組めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	8			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	1		10
③	地域連絡会に参加していますか			3	7	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	4	2		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内で実施する研修は原則としてパートを含む全職員を対象として実施している。 職場外の研修については、職員の能力に応じて積極的に参加するとともに研修参加者による伝達講習や内部共有を行うことが出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること リスクマネジメントの部分では職員間でのやり取りで共有できない部分もあった。 パート職員で研修内容ど実務に相違があるときもあったため適正な研修内容であるか精査も必要と感じた。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 年間研修の組み込みは引き続き継続していきながら、リスクマネジメント研修として出来る内容の組み込みを行う。 ケアの統一方法の検討を行いケアの質の向上を目指す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日 (13:00 ~16:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 大木 杉岡 白川 佐藤 河端 石宮 増田
軍司 古谷 吉田 南

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	5人	2人	10人

前回の改善計画

「拘束」については特にスピーチロックに注意する。
 プライバシーポリシーの利用、提供の管理ルールを明文化し適切な管理に努める・また、コンプライアンスの遵守に努めるとともに研修計画に盛り込み制度、接遇の充実を図っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

拘束や虐待については適宜研修内容に組み込む、計画的に実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	2	2	1	10
②	虐待は行われていない	5	5			10
③	プライバシーが守られている	4	4	1	1	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	1	6	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	6		2	10

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

利用者様への虐待は行われていない。
 また、利用者の入浴や本人が恥ずかしいと感じるケアについては同性介助に努めたり利用者様の話をするときにはなるべくほかの利用者様がいらない所での会話を務めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

スピーチロックが知らないうちにしてしまっているときがあるため
 スタッフ全員で意識が必要となってくる。

また、申し送りの際声の大きさでほかの利用者様に聞こえてしまっていることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

無意識に行ってしまうスピーチロックについては改めてお声掛けの注意としてスタッフ間でもスピーチロックの研修などを取り入れる。

拘束についても改めて研修にも組み込み認識の向上を目指す。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

令和6年7月22日

法人名	医療法人社団棕櫚の会	代表者	一木 崇宏	法人・事業所の 特徴	1人1人のニーズに対して柔軟に対応が可能、尊厳を大切にしています。宿泊も可能です。当事業所の2階はクリニックとなっておりますので、急な体調不良でも安心して過ごせます。訪問介護も、なじみのあるスタッフがご自宅まで訪問いたします。レクリエーションも随時開催し、楽しみのある環境を整えています。
事業所名	まるごとケアの家ホサナホーム	管理者	大木 さやか		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	2人	0人	1人	人	4人	人	8人

項目	改善計画	改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	情報共有の場があるが、周知に時間がかかり、その徹底が不十分であるため、迅速な周知徹底を図る。	情報交換（会議）及び情報共有（回覧等による）を行い周知しているが、共有されていない事項もある。	職員の入れ変わりがあつたり、個々の理解度が低い場合がある。	業務の中でも共有できる時間を作り少しでもタイムリーな情報共有が出来るようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	楽しみのある環境を提供できるように常に考え企画していく。	レクリエーションを考案し、年次計画を立てる。	やってみたいことをどうすれば出来るかを考え簡単にでも実行できるようにするのはどうか	利用者様へのアセスメントを行いやりたいことや出来ることを抽出し活力あるイベントを実行できるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域と連携し、何かお困りのことがあれば相談して下さるような事業所を目指す。	町内会の活動へ参加・町内会の会議へ参加・推進会議の開催。	どんなことでも話せる窓口が必要だと思う。	医療・介護の相談窓口を開設し地域と連携して支え合う仕組みを考案していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域との繋がりを大切にし、日常の生活感を持って過ごせるように支援する。	地域の行事や駄菓子屋を通じて少しでも地域の方との触れ合いが出来た。	高齢者だけにとどまらず地域にとって認知されてきている	地域のイベントやゴミ拾いなど利用者様主体となったサービスが出来るように回覧板などを職員全員が把握できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の取組みや方向性を推進会議で伝えることで、地域との連携を強化したい。	小規模多機能型居宅介護の特性を地域住民方へ説明をし、より多くの方々が利用できるような取組みます。	小規模多機能型居宅介護とは何か？理解度が低いと思う。	より多くのご理解と協力を得て地域と密着し連携していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災知識の向上と地域協力の強化。	地域で支え合え、助け合える環境作りの強化を目指し、防災知識を共有する。	何か災害があつた時、地域で助け合える体制作りは大切。	災害時の動きを改めて職員でシミュレーション行う。